

9 1 学期

<p>理 論 班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の際の「語り始めの言葉」一覧の検討・提示を行い、各学年ごとに子どもたちの発表の仕方の指導に役立ててもらった。 → 掲示の仕方については、環境班へ引き継ぎ ○ 「ノートのとめ方」の検討・提示を行い、ノート指導について共通理解した。 ○ 第1回研究授業の際、「研究授業の視点」を提示した。視点をしぼることで、授業研究もスムーズに進んだ。 <p>《今後の活動予定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境班による「語り始めの言葉」利用方法（机に貼って、発表の際に利用できるように）を受け、利用具合・状況に関するアンケートを取る。 ② 第1回研究授業の成果をもとに、第2回研究授業における視点を検討する。
<p>授 業 班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導案検討2回は、特に視点に沿ってということもなく、比較的自由に、多方面から検討できた。 ○ 事前授業は、日常的にも厳しかったのだが、同学年の模擬授業以外にも、1・4年生でテーマに沿った授業提案を実施できた。 <p>● 事前授業の生かし方が今後の課題である。 ポイントをしぼっての参観，交代での参観など</p> <p>《今後の活動予定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 第2回研究授業に向けて、班による指導案検討を夏休み中に1回実施 ② 第1回目の研究授業で出された課題をもとに、授業の構想 練り合いをまとめる段階？ ノートの充実
<p>資 料 班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業記録の分担がうまくいった。 <p>《今後の活動予定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 発表のとき使える言葉を発達段階に応じてピックアップする。 2学期から子どもたちが使えるように、夏休み中に作成する。 ② 担任が必要とするものへの支援（手作り教具等） ③ 当日の記録等の分担